



のとしまの1年

令和5年度 能登島地域づくり協議会 活動報告書

2023



会長あいさつ



時下、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。
さて、令和5年度（2023 年）を振り返れば、新型コロナウイルスも 5 類に変更となり、日本経済が明るさを取り戻す機運が高まりを見せていましたが、令和6 年 1 月 1 日 16 時 10 分に発生した令和 6 年能登半島地震で石川県の状況が一変しました。家族や親族の方々と新年の門出を祝い、楽しい時間を過ごしていたさなか、突然の大きな揺れと共に、津波警報の発令と頭がパニック状態になった人も多かったかと思います。

この状況の中、コミュニティセンターも避難所として開放することとなり、避難者の受け入れ対応・食料品の確保等、避難者の協力に支えられて急場をしのぎました。能登島全体の被害状況が少しずつ分かる様になると、家屋の倒壊・損壊やライフラインの状況が壊滅状態である事が判明し、家に戻れない人が多数で避難所生活が長期化するとの見通しを覚悟せざるを得ませんでした。支援物資が届くまで、ハケ崎女性会の方々の協力で炊き出しをして頂いた事、決して忘れる事の出来ない行動に感謝致します。

日が経つにつれ、全国各地から支援物資が届く様になり、共に炊き出しボランティアも来て頂き、温かい物を提供して頂いた時は感謝で涙が出ました。支援物資を届けて頂いた団体・個人の皆様、炊き出しをして頂いたボランティアの皆様、また避難所運営ボランティアの皆様にも心より感謝申し上げます。

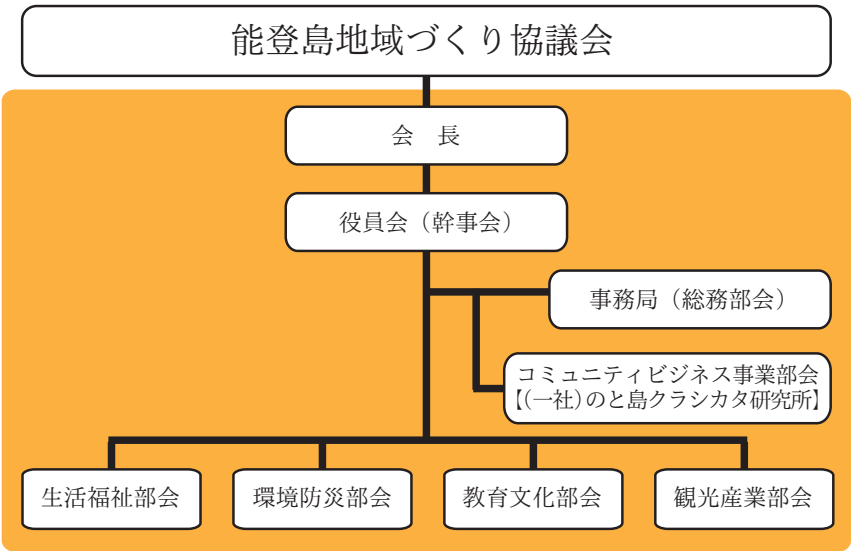
現在、仮設住宅に入られた方、まだ遠方で避難されている方、自宅に戻り生活をしている方とバラバラですが、何事も協力し合い、能登島復興に向け全員で頑張っていきましょう。地域づくり協議会としても、復興を最重点項目としての活動をして参りますので宜しくお願いします。

能登島地域づくり協議会
会長 米田 晴行

目次

会長あいさつ・運営組織図	1	総 務 部 会	7
地域づくり協議会 委員名簿	2	教 育 文 化 部 会	10
将来ビジョン・能登島のいま	3	生活福祉部会・環境防災部会	11
令和5年度カレンダー	4	コミュニティビジネス事業部会	12
《活動報告》		観 光 産 業 部 会	13
令和6 年能登半島地震	5	令和5年度 収支決算報告	14

運営組織図



令和5年度 地域づくり協議会 委員名簿

(任期: 令和4年4月1日～

令和6年3月31日)

【顧問】

役職	氏名	参考
顧問	原田 一則	七尾市議会議員
顧問	高橋 正浩	七尾市議会議員

【委員】

役職	部会	氏名	参考
会長	総務	米田 晴行	
副会長	総務	青山 博	能登島町会連合会 会長
副会長	総務	千場 恵美子	能登島地区民生児童委員協議会・女性団体協議会 会長
部会長	生活福祉	出島 茂弘	七尾市人権擁護委員
部会長	教育文化	岡本 尚士	伊夜比咩神社 宮司
部会長	環境防災	森下 剛	能登島町会連合会 副会長
部会長	観光産業	谷口 和義	能登島観光協会 会長
部会長	コミュニティビジネス 事業部	河尻 成実	のとじま特定地域づくり事業協同組合 代表理事
幹事	総務	青山 江里子	能登島地区女性団体協議会 副会長
監事	教育文化	石坂 淳	能登島町会連合会 事務局長
監事	観光産業	海老 元幸	能登わかば農業協同組合 中島支店 副支店長
	生活福祉	久木 稔夫	能登島地区老人クラブ連合会 会長
	生活福祉	川田 光春	能登島地区健康まちづくり推進協議会 会長
	生活福祉	朽木 茂樹	能登島地区民生児童委員協議会 副会長
	生活福祉	中村 勝征	能登島地区老人クラブ連合会 副会長
	生活福祉	高橋 正俊	能登島地区老人クラブ連合会 副会長
	生活福祉	長谷部 淳馨	のとじまデイサービスセンター 施設長
	生活福祉	高田 礼子	地域福祉推進員
	生活福祉	坂本 隆	生活・介護支援サポーター
	教育文化	新谷 勝士	能登島小学校 校長
	教育文化	坪野 昭	能登香島中学校 校長
	教育文化	前濱 雪枝	のとじま幼保園 園長
	教育文化	谷内 博史	能登島小学校PTA 会長
	教育文化	高木 志津子	のとじま幼保園 保護者会長
	教育文化	豊島 綾子	七尾市文化協会 能登島地域代表
	教育文化	谷内 玲香	七尾市社会教育委員
	教育文化	堀 逸朗	七尾市文化財保護指導員
	教育文化	木下 真由美	昔むかしのおはなし会 ボランティア
	教育文化	高川 拓也	能登島地区青年団 代表
	環境防災	道海 隆雄	のとじま豊稔会 会長
	環境防災	村瀬 峰行	七尾農業振興協議会 委員
	環境防災	崎山 大	地区防災士
	観光産業	青山 邦一	能登島交通(株)・(株)のと島 代表取締役社長
	観光産業	青山 慎	能登鹿北商工会 能登島支所 所員
	観光産業	竹内 淳	能登島観光協会 事務局長

将来ビジョン

全ての島民が郷土愛に満ち溢れ、
島の恵みとともに心豊かに暮らし続ける島

島の恵み
企業
進行中

島の恵みを
味わい続ける

島の絆
実現
宣言

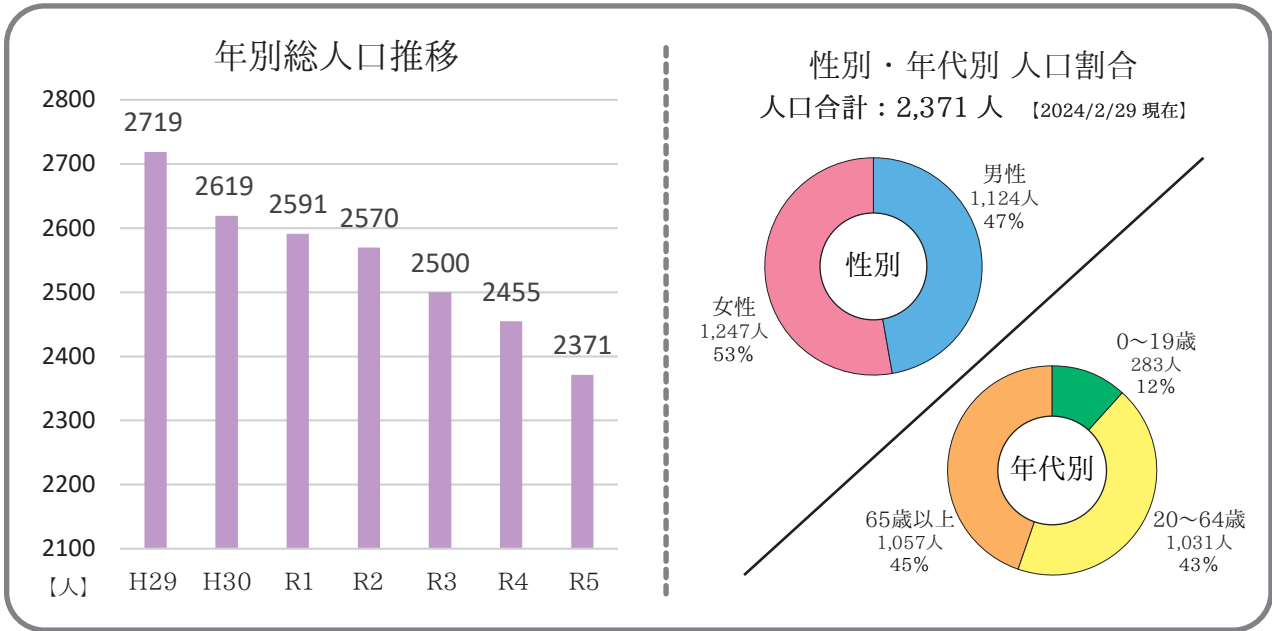
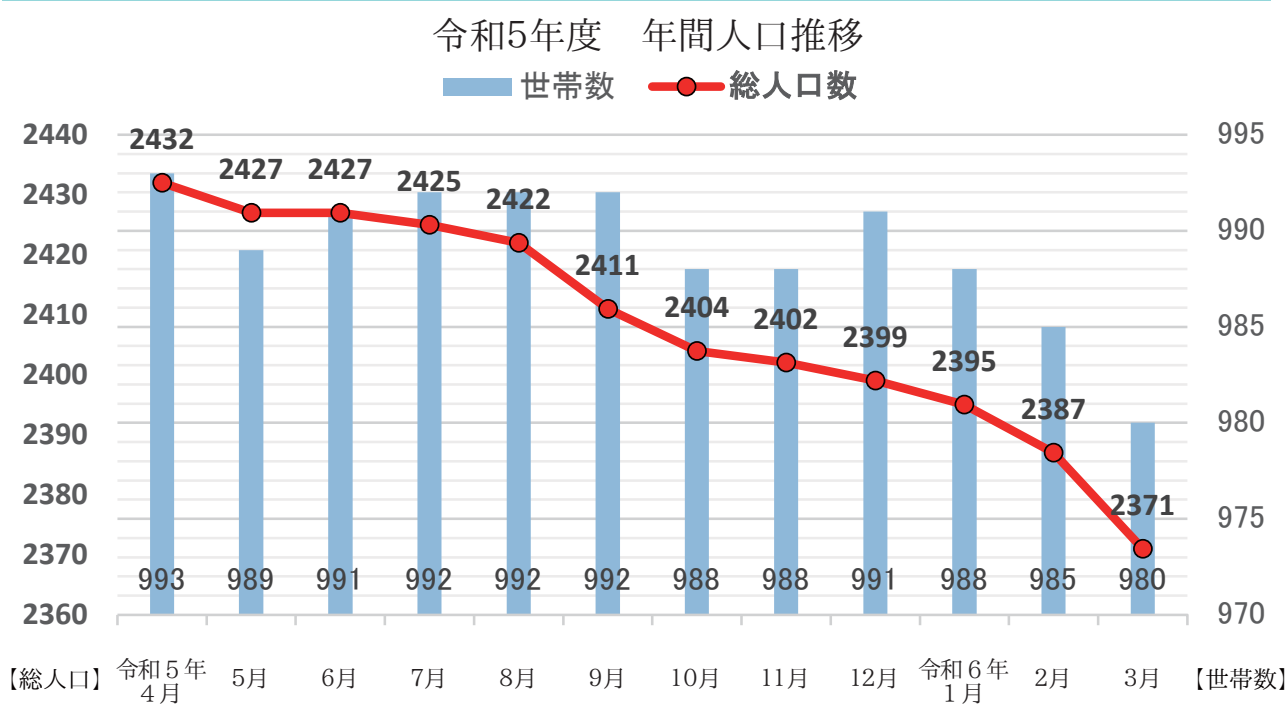
島の絆を
深める

能登島
暮らし
自慢

能登島の暮らし
を自慢する

能登島地域づくり協議会は、能登島のすべての島民が自然の恵みとともに心豊かに暮らす“のとじま暮らし”をいつまでも満喫し続けるために、島の暮らしに誇りを持ち、「島の恵みを味わい続ける」「島民の絆を深める」「のとじま暮らしを自慢する」ことに取り組みます

能登島のいま



令和5年度 カレンダー

- 2023.4月 町会連合会 総会
 地区青年団 団長会議
 地域づくり協議会 第1回幹事会
 特定地域づくり事業協同組合 定期総会
 地域づくり協議会 総会
 協議会市長懇談会
 民生児童委員定例会（以降 毎月開催）
 能登島っ子あいさつ運動（以降 毎月開催）
 島っ子クラブ 活動（以降 毎月開催）
- 5月 交通安全祈願祭
 能登島地区運動会 実行委員会
 環境整備
 学習田 田植え
 能登島観光協会 総会（書面表決）
 能登島観光協会 教育旅行受入（～11月）
 能登島観光協会 第1回通常理事会
 第16回 能登島地区運動会（中止）
- 6月 能登島地区遺族連合会 総会
 ふれあいまつり 第1回実行委員会
 魚道 第1回体験プログラム
 能登島山守の会 設立総会
 民生委員・推進委員合同研修会
 能登島こども会議 第1回ワークショップ
 ロードレース大会 運営委員会
 能登島地区老人クラブ連合会 総会
 出張カフェ「島のいっぴき」（須曾・二穴）
 農村 RMO 事業 米粉活用講習会
 のとじま豊稔会 総会
 町会連合会 第1回 定例会
- 7月 地域づくり協議会 第2回幹事会
 ゆめ基金事業 道づくり研修会
 ひょっこり能登島見守り隊 総会
 ひょっこり能登島見守り隊 出発式
 農村 RMO 事業 視察研修（中島町鉾打地区）
 出張カフェ「島のいっぴき」
 （鰻目・長崎・祖母ヶ浦・八ヶ崎）
 夏休み能登島こどもキャンプ
 夏休み 宿題おたすけ会
 能登島観光協会教育旅行学校視察
- 8月 能登島地区戦没者追悼法要
 農村 RMO 事業 あいのり交通バス実証実験
 （祖母ヶ浦線）
 ふれあいまつり 第2回実行委員会
 ひょっこり能登島見守り隊 ナイトパトロール
 能登島小学校 PTA 夏祭り
- 9月 学習田 稲刈り
 出張カフェ「島のいっぴき」（南・無閑・曲・野崎）
 SC 情報交換会
 能登島こども会議 第2回ワークショップ
 町会連合会 第2回 定例会
 魚道 第2回体験プログラム

- 10月 生活福祉部会 視察研修（シェア金沢）
 ふれあいまつり 飲食ブース出店者会議
 地域づくり協議会 第3回幹事会
 能登島こども会議 第3回ワークショップ
 出張カフェ「島のいっぴき」（向田・日出ヶ島）
 能登島見守り隊 祭事ナイトパトロール
 環境整備
 能登島観光協会 能登島太鼓叩き打ち大会
 ～秋のしらべ～
- 11月 第8回わいわい能登島ふれあいまつり
 能登島ふれあいウォークラリー
 魚道 第3回体験プログラム
 辻調理師専門学校 研修旅行受入
 農村 RMO 事業 あいのり交通バス実証実験
 （南線）
 ふれあいまつり 第3回実行委員会
 ゆめ基金事業 こども基地づくり
 出張カフェ「島のいっぴき」（半浦・別所）
- 12月 歳末高齢者見守り活動
 老人クラブ理事会
 協議会長杯 老人クラブ連合会
 スカットボール・輪投げ大会
 出張カフェ「島のいっぴき」（閨）
 町会連合会 第3回 定例会
 冬休み 宿題おたすけ会
 島っ子クラブ 視察研修
 （富山県 自由学舎エウレカ）
 町会連合会 第3回 定例会
- 2024.1月 能登半島地震 発災
 避難所運営
 地域づくり協議会 第4回幹事会
 町会連合会 臨時会議
 能登島地区支援金 受入開始
 子どもの集いの場 開設
 七尾市成人式・地区祝賀会（中止）
 老人クラブ 新春スカットボール大会（中止）
 清酒『能登島』奉納神事（中止）
- 2月 能登島地区支援金事業 総菜販売
 能登島地区支援金事業 買い物バス運行
 出張まあそい市（金沢市 近江町市場）
 被害状況聞き取り調査（東部地区）
 能登島ごっつおまつり 2024（中止）
 魚道 第4回体験プログラム（中止）
- 3月 地域づくり協議会 第5回幹事会
 地域づくり協議会 臨時役員会
 能登島地区支援金事業 買い物バス運行
 能登島こども会議 感謝の会
 春休み 宿題おたすけ会
 町会連合会 第4回臨時総会
 鹿北3町 老人スカットボール交流会（中止）
 環境美化ゴミ拾い（中止）

発災からの流れ 1.1～3.31

- 2024.1.1 ○ 令和6年能登半島地震 発災
- 3施設へ自主避難
- ・避難所：3か所
(能登島小学校・能登島総合学習センター・能登島地区コミュニティセンター)
 - ・避難者数：約720名(1月1日夜集計)
- 1.2 ○ 能登島大橋、通行可能
- 1.3 ○ 避難所の運営開始
- ・運営体制：七尾市職員・協議会職員・市民ボランティア
 - ・対応業務：避難者対応／支援物資配布・管理／炊出し調整／連絡調整／定例ミーティング
- 支援物資・外部による炊き出しの受入を開始
- 1.4 ○ 能登島内全域、電気復旧。それに伴いガスも復旧
- 1.9 ○ 能登島町会連合会 会議
- 1.10 ○ 避難所(能登島小学校)を閉鎖
以降、避難所を2か所(学習センター・コミセン)に集約
- 1.13 ○ 子どもの集いの場 運営開始
- 1.23 ○ 能登島地区支援金の募集を開始
- 1.25 ○ 能登島地域づくり協議会 幹事会・能登島町会連合会 会議を開催
- 1.28 ○ 避難者減員に伴い、避難所(コミュニティセンター)を閉鎖
避難所を1か所(学習センター)に集約
- 1.31 ○ 避難者数：41名
- 2.13 ○ 東部地区へ総菜販売を開始(毎週火曜日)
- 2.22 ○ お買い物バス(ナッピーモール行き)を運行
- 2.23 ○ 能登島応援あそい市を近江町市場で開催(計4回)
- 2.29 ○ 避難者数：29名
- 3.7 ○ お買い物バス(イオンモールかほく行き)を運行(計2回)
- 3.30 ○ 能登島旧市民センター跡地に仮設住宅が40戸完成
- 3.31 ○ 避難者数：17名



地域づくり協議会の動き

【調査】全集落への家屋の被害状況／地区在住世帯数／
民生児童委員による要支援者の確認

【会議】

- ・避難所運営に伴う職員・ボランティアの定例ミーティング
- ・協議会 幹事会・町会連合会 臨時会議を同日開催 支援方針の共有

【連携】

- ・協力団体：
 - ・能登島町会連合会／能登島地区民生児童委員協議会
 - ・能登島放課後児童クラブ
 - 集落・住民への支援対応／要支援者への対応
 - 集いの場での運営補助／避難所運営等
- ・外部団体：
 - ・NPO 法人ユナイテッドアース
 - ・移動式遊び場全国ネットワーク
 - 災害ボランティアの斡旋／集いの場の運営協力

【実施事業】

子どもの集いの場開設／近江町市場出向／島内炊出し支援(総菜販売)
／協議会 LINE の活用／買い物バスの運行／能登島新聞による情報発信
(各種制度の紹介や罹災証明取得の呼びかけなど)

【資金確保】地区支援金の募集を開始、ボラサポ1次募集にて申請採択



インフラの被害・復旧状況

◆ 島内全てのライフラインが一時機能停止

【電気】地震発生当初は一時的に停電。順次通電し、1月4日には全地区が通電

【水道】段階的に復旧し、3月末で県水は通水開始

※通水はしたが、宅内配管の破損等があるため使用できない家屋あり

【通信】一時的に不通になるが1月4日から通電に伴い、随時復旧

◆ 島内の道路・港湾等の被害

【道路】

・能登島大橋は1月2日から通行可能、ツインブリッジは損壊が激しく3月末時点も通行止め

・市道・広域農道で複数個所の陥没、外周道路の一時寸断（一時孤立集落が発生）

※順次舗装工事を行っているが、3月現在でも通行止め・片側交互通行の箇所あり

【港湾】損壊や地割れ・地盤沈下が発生



支援団体一覧

◆物資・炊き出し

シダックス株式会社／株式会社プレナス／創生ななお／SAVE IWATE／株式会社バロー／横浜の野毛交友会／ブラッスリーピガール／パティスリーミレジム／能登島サンスーシィ／カフェ食堂れんげや／株式会社丸亀製麺／株式会社サウンド・ソニック／株式会社壺番屋／株式会社すかいらく／ホールディングス／株式会社カルネヴァーレ／株式会社ブロンコビリー／株式会社コメダ／UCC上島珈琲株式会社／ほっとのっと／まるたかや／ドッグランカフェ MOMO／合同会社菜友館／InD's／はいから食堂／八幡グループ／ROUTE18／ゴシキ／ANCHOR／タルトタホットサンド／幡ヶ谷再生大学復興再生部／フルタニランバー／日本赤十字社／一般社団法人七尾青年会議所／有限会社みやけ食品／スポーツキャンプ石川／日本青年会議所／ホテル海望／ライオンズクラブ／アラキ興業／奈良県北葛城郡広陵町／トラベル愛ランド株式会社..etc

◆支援金寄付

愛東地区まちづくり協議会／株式会社千場建設／石川県トライアスロン協会

その他、個人・団体の皆様からのたくさんのご支援に対しまして、心より感謝申し上げます。



総務部会

ふれあいまつり・ウィークラリー

わいわい能登島ふれあいまつり

11月5日（日）、第8回わいわい能登島ふれあいまつりを開催しました。天候にも恵まれ、約 500 名程の方々にご来場いただき、大盛況のうちに終えることができました。

今年の飲食・販売エリアでは、コロナ前のような盛り上がりが見られ、多くの人で大変賑わっていました。

防災・福祉ブースでは七尾消防本部と七尾警察署による防災・防犯啓発や、健康まちづくり推進員による健康啓発イベント、また体験ブースでは能登島ガラス美術館によるガラス細工ワークショップや、老人クラブ連合会によるスカットボール・輪投げ体験、スラックライン体験が行われました。

作品展示では、廊下全体を使ったのとじま幼稚園の園児さんによる作品をはじめ、文化協会能登島地域や地区女性会、小学校、のとじまデイサービスさんなどの団体作品と、有志の個人作品が出展されました。

舞台発表では、能登島小学校4年生による雨乞い太鼓演奏のほか、能登香島・中島中学校の合同吹奏楽部による演奏、琴城流大正琴な華による大正琴演奏、能登島フラサークル Moku Maluhia によるフラダンス発表のほか、体操講師の宮西さんによる「心も体も元気アップ体操」を来場者の皆さんと一緒に実

演しました。

また、今年の能登島地域づくり協議会「地域活動団体支援事業」で立上げを支援したアイドルグループ「能登アイランドガールズ」がダンスを披露したり、昨年の同事業で完成した「のとじまのうた」と能登島小学校の校歌を、フラサークルや有志の皆さん、島っ子クラブや飛び入り参加の子ども達で合唱したりと、会場は大変盛り上がりました。

能登島ふれあいウォークラリー

島民の交流・健康増進イベントとして能登島ふれあいまつり開演前に能登島ふれあいウォークラリーを開催しました。

当日は、子どもから大人まで 84 名が参加し、能登島コミセンから能登島ガラス美術館まで往復する約 5 km のコースを歩き、チェックポイントのガラス美術館で抽選券にハンコを押してもらってから戻ってきてもらいました。

参加者からは、久しぶりの運動で身体中が痛いけど楽しめたという声や、子供たちは走って戻ってきて、距離が短かったけど楽しかったとの声が聞かれました。

ふれあいまつりの最後に、ディズニーペアチケットや、お肉やフルーツの盛り合わせ、商品券などが当たる大抽選会を行い、当選した参加者は両手を上げて喜びながら商品を取りに来ていました。

参加して頂いた皆さん、ありがとうございました。



地域活動団体支援事業

今年度も地域の自主的な活動に地域づくり協議会が助成する「地域活動団体支援助成事業」を募集し、「能登島小学校PTA夏まつり実行委員会」、「能登アイランドガールズ」、「のとしまフラサークル」の3団体の応募があり、承認されました。

◆ 能登島小学校PTA夏まつり実行委員会

コロナで薄れてしまった地域のつながりを取り戻すため、子どもも大人も一緒に楽しめる夏祭りを開催しました。

当日は、PTAが運営した縁日や盆踊り、〇×クイズは子ども達に大好評。最後の花火大会では、子ども達はもちろん、大人も楽しんでくれたようです。

◆ 能登アイランドガールズ

昨年度に同支援事業で完成した「のとしまのうた」のダンスバージョンを作成し、曲に合わせたダンスをふれあいまつりで披露しました。今後は、復興イベント等でも活動を行いたいとの事です。

◆ のとしまフラサークル

昨年度に同支援事業で完成した「のとしまのうた」をワークショップ形式で島民と一緒に練習し、能登島ふれあいまつりでこども達と一緒に披露しました。また、スタジオでレコーディングを行い、音源をCDに録音して配布できるようにしました。

3団体の活動は引き続き支援していきます。



視察研修

金沢市 シェア金沢 視察研修

10月27日(金)、金沢市内にある複合福祉施設「シェア金沢」へ視察研修に行きました。

社会福祉法人佛子園が運営するこの施設は、以前病院があった約1万坪の敷地内に天然温泉、レストラン、カフェなどの観光施設と、障がい児入所施設やサービス付き高齢者向け住宅などの福祉施設、さらに一般の学生向けの賃貸住宅などが混在するエリアで、一帯が「街」のようになっています。

そもそも佛子園は、お寺で障がい児を預かる住職さんの福祉活動から始まり、社会福祉事業を行っていますが、いわゆる「福祉」分野にとどまらず、健常者も障がい者も、若者も高齢者も区別なく関わり助け合う「ごちゃまぜ」の地域づくりを掲げています。

能登町の「日本海倶楽部」や輪島市の「輪島カブーレ」などそのビジョンのもと事業を展開しています。

シェア金沢も温泉などで障がい者の方も働いていたり、賃貸に住む学生が高齢者や障がい児と交流したりとまさに「ごちゃまぜ」で、福祉施設の入所者にとっても良い相乗効果となっているそうです。

経営的にも3年前ほどから黒字経営となっているとのこと、民間企業の地域づくりの事例としても大変参考になりました。



七尾市地域創生ゆめ基金事業

令和3～5年度の3ヵ年、移住促進と里山整備活用の事業を実施してきました。

移住促進事業では、HP等から移住相談を受け付けるとともに、令和4年度からは向田地区で「移住体験住宅コウダハウス」を開設し、利用者のうち1家族が能登島に移住しました（地震により閉鎖）。

里山整備活用事業では、家族旅行村 We ランドに隣接する雑木林（牧山）で、軽トラが通れる小さな道を作り、薪づくりや森林レクリエーションに活用できるよう整備しました。

令和5年度は、親子向けプログラム「こども基地づくり」や小学校 PTCA でのネイチャーゲーム等を実施したほか、能登島の木を使ったマグネットなどのお土産品を試作しました。

今後は、令和5年度に設立した「能登島山守の会」を中心に活動を継続していきます。



農村型RMO形成推進事業

あいのり交通 実証実験

令和4年度から取り組んでいる本事業の中で、生活福祉分野の取組として地域の足である路線バスについての検討を進めています。

昨年度2月の南線に続き、祖母ヶ浦線沿線を対象に8月29日～9月1日の4日間、事前に予約をして乗用車タイプのミニバンを乗り合いで利用する「あいのり交通」の実証実験と、買い物を目的として行き先を定めた「買い物バス」（1日のみ）も合わせて運行しました。

また、南線の実証実験を再度行い、11月17日には、別途開催されていた出張コミュニティカフェのお弁当の配達実験も行いました。（車両運行以外の利用を模索）

利用者に聞き取りを行ったところ、普段は通院のついでに買い物を済ませる方が多く、七尾市街地までご利用いただく方が多いこともわかりました。

今後、実施した実証実験結果をふまえて、

よりよい移動手段の確保に向けた取り組みを検討し、進めていきます。



米粉講習会

能登島の田んぼをどう守っていくかを考えるときに、担い手や体制の問題もさることながら、いかにお米に価値をつけて高く売るか、という点も重要です。そこで今回はお米をそのまま販売するだけでなく、加工することで付加価値を上げていけないか、という観点から『米粉』に注目した講習会を開催しました。

とはいえ、米粉はお団子や白玉などを作る以外にどのように何に使えるのかよく分かりません。そこで米粉料理研究家の高橋ヒロ先生をお招きし、米粉ごとの違いとは、グルテンフリーとは、何に使える？などの疑問を解消し、実際に能登島のお米を製粉した米粉を使って実習を行いました。

13名の方々に参加いただき、今までよく分からなかった米粉がぐんと身近なものになったようで、講習が終わってからも各自でいろいろなお菓子や料理に使ってみたなどの反響もあります。この先米粉による商品開発なども真剣に考えていきたいところですが、どんな形であれ、お米に興味を持ちみんなで島の田んぼを支える動きにつながればと思っています。



教育文化部会

能登島こども会議

能登島小学校との協働事業である「能登島こども会議」も今年で8回目となりました。

この事業では、能登島の里山里海を守っていくために子ども達がアイディアを考えてふれあいまつりで出店・展示などの形で発表しています。

今年は、「田んぼや米の未来について」をテーマに会議を進めることにしました。子ども達は、ワークショップで田んぼの現状や困っていること、協議会や島内の事業者が取り組んでいる米にまつわる商品開発について聞き、「米粉の活用と能登島米のPR」に取り組むこととしました。

ふれあいまつりで出店するため、グループごとに考えた米粉レシピを前述の高橋ヒロ先生にプレゼンテーションして、当日発表するレシピ3点を選んでいただきました。子ども達は、事前に「試作品作り」を行い、レシピの改善を重ねました。ふれあいまつり当日は、舞台でこれまでの取り組みを発表した後、テントで大人の協力も得ながらそれぞれのメニューを作り上げて、試食会を行いました。

テントを訪れた多くの来場者の方に試食をしてもらい感想を集めることができました。また、この1年間取り組んできた能登島の田んぼ・お米の現状について聞いたこと、調べたこと、そしてPRに向けて自分たちが取り組んだことをまとめた動画を流しました。

この活動を通じて、子どもたちが能登島のことを学び、そしてこのPRを通じて、大人たちも行動するという循環が生まれるのではないかと期待しています。



島っ子クラブ

こども県政バスツアー

8月9日（水）、石川県こども県政バスで「埋蔵文化財センター」と「子ども交流センター」の2箇所に行ってきました。

埋蔵文化財センターでは、普段見れない発掘作業から出てきた土器の破片などを綺麗にし、保管できる状態にする作業を見学しました。また、縄文、弥生、奈良時代の住居を見学し、その後工房にて勾玉作りの体験もしました。

子ども交流センターでは、プラネタリウムを見学。その日の夜の星空の解説があり、その後は映像も交えて、宇宙の果てまで旅する内容でした。

子ども達には夏休みの良い思い出になったかなと思いました。



ちまき作り

旧端午の節句にちまきを作りお寺にお供えしているという七尾の鳥居さんを講師にお招きして行いました。

見本の5枚の笹で作るちまきはちょっと難しいので、3枚の葉っぱで作る三角形のちまきを作りました。

参加した子どもは、「笹で巻いたこんな感じのもの、トトロで見たことある！」と言っていました。

時間は掛かったものの、みんな自分の分をしっかりと仕上げました。



生活福祉部会

民生委員・福祉推進員 合同研修会

6月13日（火）に生活福祉部会の研修会を開催し、民生児童委員さん、地域福祉推進員さん、地域づくり協議会の生活福祉部会委員の皆さんが参加しました。

七尾市社会福祉協議会から谷口さんを講師にお招きし、講義とワークショップ形式で実施しました。

前半は地域の福祉活動を担う民生児童委員、地域福祉推進員の役割について聞きました。

後半はワークショップで、グループごとに地域で困っていることや、私達にできること等を書き出し、以前に行った地区福祉懇談会の結果とも比較しながら、地域課題に対し何ができるか考えました。



地区老人スカットボール大会

12月19日（火）、協議会長杯老人スカットボール大会を行いました。

大会には、各地区から5～6チーム、50名程の皆さんが参加し、熱戦を繰り広げました。

今回は、七尾市ふれあいスポーツ大会でも開催された輪投げ大会も一緒に行われ、3mほど離れた的に向かって輪を投げ、的に輪が入るとチームメイトから拍手が起こり、和気あいあいとした時間になりました。



出張コミュニティカフェ「島のいっぴき」

集落ごとの地域のつながり維持のために、子どもから高齢者まで、気心の知れた人たちとの交流の場づくりとして、今年度も出張コミュニティカフェ「島のいっぴき」を町会ごとに開催しました。

6月に開催した須曾町では、よりあいの場に合わせて折り紙でお花の壁飾りを作り、10月の向田地区では、向田さくら会を中心に集まって七尾市消費生活センターの「特殊詐欺に騙されない」DVDを視聴し、ゲーム大会をしました。

また、11月に開催した半浦地区では、老人クラブの半浦瑞穂会を中心に約30名が参加し、管理栄養士の橋本良子さん（移動販売まんぶく丸）から食についてのお話を伺いました。

今年度は、全6回12町会で開催しました。普段同じ在所や隣在所でもなかなか顔を合わせることが減っている中、貴重な交流の機会として今後も継続していきます。



環境防災部会

環境整備事業

地域づくり協議会に所属する各団体と施設利用者約60名にご協力いただき、島内の県道・市道等の主要道路沿いの除草作業や張り出した樹木の伐採、コミセンの花壇の草むしりやゴミ拾いなどを行いました。

協力して頂いた皆さんのおかげで、能登島の道が大変きれいになりました！



交通安全祈願祭

春の全国交通安全運動に合わせて、交通安全祈願祭を開催し、島内の各種団体から約40人が参列しました。

式では、主催者を代表して地域づくり協議会の米田晴行会長が挨拶し、七尾警察署長をはじめ各団体の代表が玉串を捧げました。

祈願祭の最後に地元の手芸クラブ「こでまりの会」が作成したうさぎの交通安全マスコットが参加者に配布されました。



コミュニティビジネス事業部会

のとりまバルーン&ビアガーデン

9月16日・17日に「のとりまバルーン&ビアガーデン」が開催されました。これは観光庁の交通連携事業の一環で、能登島への誘客や周知を目的として行われたもので、2日間でおよそ350人の方が乗船体験に参加してくださいました。当日は時折風が強くなる場面もありましたが、全員が乗船でき、事故もなく成功裡に終了することができました。会場では能登島の新米おにぎりとお味噌汁も提供され、朝のひと時を楽しんでいただくことができました。

また、夕刻からのビアガーデンは、キッチンカーなども出店頂き、気球を大きなランタンに見立てて実施しました。空から見る能登島を多くの方に体験いただき、改めて能登島の良さが伝わったのではないかと思います。



夏休み能登島こどもキャンプ

毎年恒例、こども達が2泊3日で能登島に泊まり、海や山で遊んで体験するプログラム「夏休み能登島こどもキャンプ2023」を、7月24日～28日の5日間で2回実施しました。

参加者は、七尾・金沢・東京・富山の小学校1～6年生各回20名程。加えて今年も金沢の高校生2名が参加し、スタッフとして手伝ってもらいました。

We ランドでは、竹で作った食器を使ってBBQを味わい、夜にはキャンプファイヤーを囲みました。2日目は海で思い切り泳いだり生き物探し、さらに舢舨こぎ船にも挑戦しました。自分で魚をさばいて作った海鮮丼に感動したり、漁港での釣り体験、集落散策など、あっという間の2泊3日でした。

こども達も普段とは違う環境で思いっきり遊んで楽しめたようでした。



「魚道を極める」ツアー

能登の魚を季節ごとに様々な角度から学び楽しむ企画「魚道を極める」ツアーを今年度は全3回開催しました。

前回に引き続き、講師に岡田大介さん【鰺酢飯屋代表】をお招きし、6月に「海藻&貝」、9月は「刺し網」、11月は「旬の地魚握りずし」の体験プログラムを実施しました。

例えば6月の「海藻&貝」では、サザエの生態などを座学で学び、その後海岸に出向いて実際に海藻や、生き物観察も行いました。お昼ご飯にはサザエをいろいろな味で楽しみ大満足。

午後は、一本杉通り『しら井』さんにお邪魔して、女将さんの海藻トークでさらに理解を深めた後は、海藻おしぼ体験を行いました。カラフルな海藻を思い思いに配置して、それぞれの個性が光る作品が出来ました。

次回も旬に合わせた新たなプログラムを計画していきます。



辻調理師専門学校 研修旅行受入

昨年度に引き続き、辻調理師専門学校の日本料理コースの生徒さんが能登島での研修旅行に訪れました。

料理人を目指す学生たちに生産地の現場を直に見て体験してもらい、また地域で頑張っている先輩たちの姿を見てもらいつつ、実際に能登島の食材を使い、調理実習も行いました。

今年度は、新たに食材流通の研修として新規オープンしたばかりのどんたく和倉店を訪問し店長さんの説明を受けたほか、企業の農業参入にいち早く取り組んで自社生産物の活用や地域貢献に取り組む鰺スギヨの圃場見学なども取り入れました。

また、島の方々との懇親を兼ねた試食会も行い、とても充実した研修となりました。



観光産業部会

教育旅行

令和5年度も無事終わる事ができました。地域住民の皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

春は珠洲であった地震の影響でキャンセルが続きましたが、常連校に支えられました。このご縁から1月以降に生活物資を学校関係者の皆様が届けてくれましたことに心から感謝しております。教育旅行に関して、今後の予約受付は停止中ですが、再開に向けて頑張ります。



令和5年度 収支決算報告

◆公益事業

収 入		支 出	
項 目	決算額(円)	項 目	決算額(円)
補助金・交付金等	21,811,753	マニエティ交付金 総務部会	1,375,159
福祉関係 助成金等	1,176,543	マニエティ交付金 教育文化部会	139,033
地区協力金・負担金等	2,345,487	マニエティ交付金 環境防災部会	109,808
		福祉関係 助成金等	1,156,760
		農水省 農村RMO事業	9,500,000
		七尾市 ゆめ基金事業	2,000,000
		自己資金事業	1,718,612
		マニエティ交付金 管理費	8,687,753
収入合計①	25,333,783	支出合計②	24,687,125
		公益事業 収入-支出 (①-②)	646,658

◆特別会計

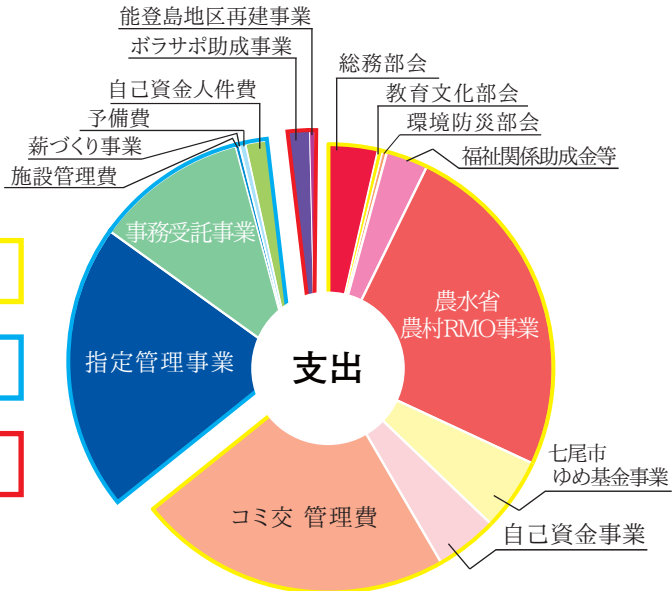
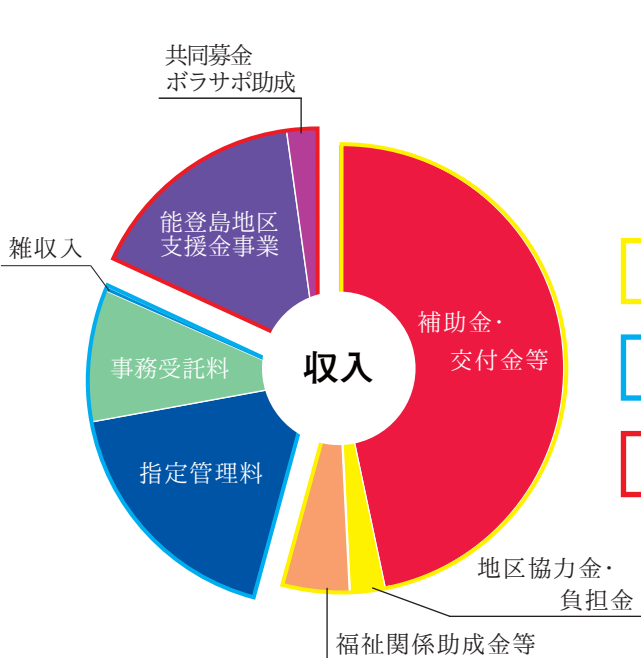
収 入		支 出	
項 目	決算額(円)	項 目	決算額(円)
能登島地区 支援金	7,437,015	能登島地区 支援金事業	581,866
共同募金 ボラサポ助成	1,030,000	ボラサポ 助成事業	138,970
収入合計①	8,467,015	支出合計②	720,836
		特別会計 収入-支出 (①-②)	7,746,179

◆収益事業

収 入		支 出	
項 目	決算額(円)	項 目	決算額(円)
指定管理料	8,363,100	指定管理事業	7,962,980
事務受託料	4,446,000	事務受託事業	4,196,000
雑収入	109,581	おにゆりの里 管理費	93,332
		薪づくり事業	25,000
		予備費	147,177
		自己資金 人件費	600,000
収入合計①	12,918,681	支出合計②	13,024,489
		収益事業 収入-支出 (①-②)	▲105,808

◆貸借対照表 (R6.3.31 現在)

【資産の部】		【負債の部】	
項 目	決算額(円)	項 目	決算額(円)
普通預金	12,365,577	未払金・退職給付引当金等	1,270,755
定期預金	6,500,773	【正味財産の部】	
未収金	3,400,000	前期繰越 正味財産	12,708,566
		当期正味 財産増減	8,287,029
		正味財産合計	20,995,595
資産合計	22,266,350	負債及び 正味財産合計	22,266,350



公益事業

収益事業

特別会計



令和5年度 能登島地域づくり協議会 活動報告書
「のとしまの1年」

発行：能登島地域づくり協議会
石川県七尾市能登島向田町ろ部8番地1
能登島地区コミュニティセンター内